

Case 2

魚町 × 黒崎



「いらっしゃいませ！」真剣な眼差しで高いを学ぶ子どもたちと、それを見守る大人たち。(2025.10.25 こども商店街 in 小倉)

「こども商店街」を魚町でも！という街の声に、黒崎の皆さんが惜しみないノウハウ共有で応えてくれました。魚町が場を提供し、強力なタッグで二地域開催が実現。街を越えて子どもたちの笑顔が広がり、ファンの循環も生まれています。良い企画は境界線を越える。連携の手応えと、共に育てる喜びを肌で感じました。

街を越えて「楽しい」が伝播。
黒崎発イベント、小倉へ進出！
魚町商店街振興組合理事長
梯輝元さん



Case 3

八幡東 × 門司港



門司港の夜に響く、八幡東からのグルーヴ。熟演する「TOILET & C' MONMUSICS」のメンバーたち。(2025.8.9 栄町夜市)

「ほこみち」で街に賑わいを！私たちの想いに、既に実績のある門司港の島田さんが全力で応えてくれました。事務局同士の連携で疑問点を徐々に解消。さらにこの縁で、栄町銀天街のイベントでの演奏も実現しました。制度のノウハウ共有から始まった関係が、互いの文化と音色を響かせ合う、豊かな連携へと進化しています。

※「歩行者利便増進道路」の通称。道路空間を賑わいや交流の場として柔軟に活用するための制度。

「ほこみち」活用の
ノウハウを共有
八幡中央区商店街協同組合事務局長
中尾真奈美さん



Case 4

戸畑 × 若松



アーケードが巨大な宴会場！地元的美食と美酒で心地よい熱気に包まれる一夜。(2025.10.3 わかまつわいわい大緑日)

「若松で出店しない？」仲間の誘いに鶏の唐揚げ「勉強屋」を出店肌で感じた凄まじい熱気。「戸畑も負けられない！」と心に火が付き、直後の「秋のとばたマルシェ」はいつになく熱が入りました。地区の境界線を越えて切磋琢磨し、高め合える「良きライバル」。この「担い手同士のネットワーク」こそが、私たちが得た最大の財産です。

刺激し合う
「良きライバル」の誕生
戸畑第一料飲組合
大木圭太さん



Case 1

門司中央市場 × 商店街を研究する大学生



「お店でもやってもらねえ！」理事長のひと言に背中を押され、門司中央市場で「今と昔」をつなぐ交流拠点「キオク屋」を11月27日から12月20日まで、期間限定オープンしました。空き店舗を使い、ポラロイド撮影や雑貨販売を、そして店主の皆さんやお客さんとの対話を重ねて「手書きマップ」を制作。商店街の魅力を若者の感性で翻訳し、SNSとも連動、次世代へつなぐ新しい発信に挑みました。

「卒業論文のテーマが商店街なんです、めっちゃめっちゃ勉強になりました！」

市場の記憶を未来へつなぐ、期間限定の拠点「キオク屋」
九州大学共創学部4年
高畑真衣さん



「市場を盛り上げるために何かしたい！」その熱意が、世代の壁を溶かして最高の笑顔を生んだ。仲間たちも応援。



1ヶ月間の対話の集大成。店主やお客さんの「オススメ」と「思いつき」を紡いで完成した手書きマップ。

これ、おもしろくない？

から生まれた
【6つの連携事例】

連鎖

商店街の未来をつくるのは、一つの商店街だけの力ではありません。「商店街担い手発掘プロジェクト」を通じて出会った仲間たちが、互いの街を行き来し、知恵を出し合うことで、北九州市各地でワクワクするような連携が始まっています。今、この場所から生まれつつある6つのストーリーをご紹介します。